

国際展示会・コンベンション

Independent Ageing 2023

高齢化社会を支える
革新的なソリューションとテクノロジー



会期 2023年10月13日(金)~15日(日)

会場 Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) 中部国際空港から徒歩5分

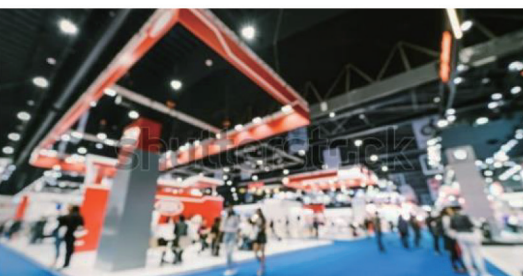
実行委員長 荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター 理事長)

事務局長 加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部長)

主催 インエイジ実行委員会

国立長寿医療研究センター / GEMS Association (Global Education of Medicine & Science) / ケネスグループ

後援 愛知県



<https://independent-ageing.kenes.com/ja/>

Independent Ageing の開催について

現代医学の進歩や公衆衛生およびヘルスケア分野の発展に伴い、世界の平均寿命は着実に延びてきており、2019年には60歳以上の人口が10億人を突破しました。こうした社会の発展を受け、新たな視点をもって、高齢者の人権が十分に尊重されるような新たなパラダイムを確立し、**年を重ねても人々が健康で自立した生活を送れるような支援体制を整える必要性が問われています。**

自立した日常生活を送り、日常生活能力を維持しながら家族や地域コミュニティ、社会システムとのつながりを保つためには、革新的かつ独創的なソリューションはもちろんのこと、年齢差別に対抗し、人生におけるさまざまな要素や領域をすべて網羅する**包括的な取り組み**が必要不可欠です。

Independent Ageing では、B2B（企業間）、B2C（企業と消費者間）およびB2G（企業と政府・自治体間）向けの国際的な商業展示会と専門家による講演会を組み合わせた情報共有の場を提供することで、増加の一途をたどる**高齢者の自立をサポートする革新的なソリューションとテクノロジーを発表する機会**を設けます。

企業展示（国内外関連企業の出展予定）

- 革新的なソリューションや新しい製品・サービス、最新テクノロジーの紹介
- 高齢化に対する新たな視点、産業振興の機会を提供いたします。
- 新たな事業提携の機会を設けます。（出展企業とのミーティングの事前設定ができます）

講演

- 展示会と並行して、選りすぐりのテーマからさまざま講演やセッションを開催（3日間3会場）
- 重要な社会課題（経済、労働、医療、環境、パンデミックなど）と高齢化との関連性について理解を深める機会を提供します。
- 講師は国内外の専門家をお呼びします。また、高齢化社会が直面する課題に対する地域および国家レベルの政策についてのディスカッションも見どころの一つです。
- 市民公開講座
一般の方向けの講座を、国立長寿医療研究センターロコモフレイルセンター、摂食嚥下・排泄センターなどの企画で行います。

Independent Ageing には、医療、介護、銀行・金融、保険、旅行、娯楽、小売、クリエイティブ産業、政府・行政、その他の高齢者向けサービス産業関係者、地域在住高齢者の方々など、さまざまな方が参加されます。

新たなソリューションを発表する場として、人脈作りの場として、専門知識を蓄える場として、将来に向けた新たな見識や視点を獲得する場として、絶好の機会となっております。

ぜひ、愛知県国際展示場まで足をお運びください。誰もがより快適に、より健康的に、より自立した人生を過ごせる未来のために、いま共に道を切り開きましょう。

講演プログラム				2023年10月13日(金)					
コンファレンス・エリア 1		コンファレンス・エリア 2		コンファレンス・エリア 3					
9:00 - 10:15		<p>プレナリーセッション 1 高齢者の人口動態 ー機会と課題</p> <p>世界の高齢化: 現状と将来像 Amal Abou Rafeh (国際連合経済社会局, Chief of Programme on Ageing Section, Social Inclusion and Participation Branch, 米国)</p> <p>80歳からでも人は成長できる 若宮 正子 (IT エヴァンジェリスト, ExcelArt の第一人者, 日本)</p>							
10:15 - 10:30		開会の辞: 愛知県知事、来賓挨拶							
10:30 - 11:00		休憩&展示会場見学							
11:00 - 12:30		<p>トラック: 高齢化と経済 ー経済にもたらす好影響</p> <p>なぜ労働力の高齢化が必要なのか、 どうすれば実現できるか? Dorotea Schmidt (International Labour Organization, Switzerland)</p> <p>求職活動および仕事探しのための 人口知能 Rivi Beller (SKEELZ, Israel)</p> <p>認知機能と経済行動の関係性 駒村 康平 (慶應義塾大学, 日本)</p> <p>英国と日本の高齢消費者 - 経済成長のチャンス David Sinclair (International Longevity Centre UK, ILC UK)</p>		<p>トラック: 高齢化と テクノロジー</p> <p>デジタル社会で老いるということ Roxana Widmer-Iliescu (国際電気通信連合, スイス)</p> <p>世代間のデジタルリテラシートレーニングを通じて世代を強化する Xue Bai (The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong)</p> <p>ベルギーの高齢者における インターネット利用状況の違い Nico de Witte (ブリュッセル自由 大学 & University College Ghent, ベルギー)</p> <p>高齢者歩行支援ロボット i-Cane 福田 敏男 (名古屋大学, 日本)</p>		<p>トラック: 高齢化と健康</p> <p>医療・社会的サービスの必要性と享受 Julie Byles (国際長寿センター・グローバル・アライアンス & ニューサウスウェールズ大学, オーストラリア)</p> <p>最も若い人口構造をもつアフリカ における高齢者の長期介護: 自律性に関する世代間差異 Jaco Hoffman (ノースウェスト大学 ヴァールトライアングルキャンパス, 南アフリカ)</p> <p>認知予備力の保護的役割: 研究から 介入まで Barbara Colombo (Champlain College, USA)</p> <p>高齢者の自立支援を行う医療従事者 に向けた卒後研修 Meltem Koca (Ankara Diskapi Yildirim Beyazit Training and Research Hospital, トルコ)</p>			
12:30 - 12:45		休憩							
12:45 -		<p>12:45-13:30</p> <p>第一生命保険(株)によるセッション</p>		<p>市民公開講座 1 (12:45 - 13:45)</p> <p>足腰の衰えであるロコモとフレイルの 関係、それらを良くする新しい外来と 簡単な予防法 司会: 加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センター) 1) 講義 (30分) 松井 康素, MD, PhD ロコモフレイルセンター長, 国立長寿医療研究センター 2) 質疑と実技 (30分)</p>		<p>12:45-13:15</p> <p>超高齢化する地球に向けた イノベーション Nardev Ramanathan (Lux Research, Singapore) 13:05-13:15 Q&A</p>			
13:30 - 14:30		昼食休憩&展示会場見学							

講演プログラム

2023年10月13日(金)

<p>14:30 - 16:00</p>	<p>トラック:高齢者にやさしい環境と文化 高齢者にやさしい街とコミュニティ作り Thiago Hérick de Sá (世界保健機関, Age-friendly Environments, スイス) 高齢者にやさしい街づくり -秋田市の事例 Mari Ogawa (秋田市, 日本) インクルーシブ・デザインが創出する ポジティブエイジング Chris McGinley (ロイヤル・カレッジ・オブ・アート・ヘレン・ハムリン・センター・フォー・デザイン, Age and Ability Lab, 英国) インプロヴィゼーションと クリエイティブ・エイジング Ruth Yamamoto (プリンス・ジョージズ・コミュニティ・カレッジ, 米国)</p>	<p>市民公開講座 2 14:30-15:15 いつまでも生き生きと暮らせる社会に向けたテクノロジー実装 司会: 塚原 淳 (国立長寿医療研究センター) 1) 講義 (25分) 塚原 淳 (健康長寿支援ロボットセンター 生活支援ロボット・人工知能開発研究室 室長) 2) 講義 (20分) 吉見 立也 (健康長寿支援ロボットセンター, ロボット臨床評価研究室 研究員) 市民公開講座 3 15:15-16:00 未来の自分を守る! 認知症とフレイル防御術 司会: 前島 伸一郎 (国立長寿医療研究センター) 1) 講義 (12分) 前島 伸一郎 (長寿医療研修センター長, 国立長寿医療研究センター) 2) 講義 (12分) 大沢 愛子 (リハビリテーション科部医長, 国立長寿医療研究センター) 3) HEPOP プログラム (実技) (20分)</p>	<p>トラック:高齢化と健康 高齢者のケアとサポートをより良くするための計画 荒井 秀典(国立長寿医療研究センター, 理事長日本) COVID 禍における高齢者の自立した生活と自立した死、死別について Carl Becker (京都大学大学院医学研究科・医学部, 日本) COVID-19 禍における香港在住の南アジア人高齢者のソーシャル・キャピタル Prof Daniel Lai (香港パプテスト大学, 香港) 将来起こり得るパンデミックに備えた人権ベースのアプローチ Margaret Gillis (国際長寿センター・グローバル・アライアンス&カナダ国政長寿センター理事長)</p>
<p>16:00 - 16:30</p>	<p>休憩&展示会場見学</p>		
<p>16:30 - 17:15</p>	<p>プレナリーセッション 2 高齢者にやさしい国策および地域政策—人権 自立した高齢者を支える人権ベースのアプローチへ Claudia Mahler (国際連合, 高齢者による人権享受に関する独立専門家, オーストリア) 高齢者が生きがいをもって生きる権利 Israel Doron (ハイファ大学, イスラエル)</p>		
<p>17:15 - 17:30</p>	<p>休憩&ショーケース・セッション(15分間)</p>		
<p>17:30 - 18:15</p>	<p>プロダクティブ・エイジングの推進: 企業と自治体の新しい協働関係 エイジング・イン・プレイス 中村 一朗 (国際長寿センター, 日本) 高齢者の社会活動支援に向けた産業連携 Hiroki Hasegawa (JTB, 日本)</p>	<p>17:30 - 18:00 ショーケース・セッション (30分間)</p>	<p>17:30 - 18:00 ショーケース・セッション (30分間)</p>
<p>18:15</p>	<p>ウェルカム・レセプション(懇親会)</p>		

講演プログラム 2023年10月14日(土)			
	コンファレンス・エリア 1	コンファレンス・エリア 2	コンファレンス・エリア 3
9:00 - 10:30	<p>プレナリーセッション 3 高齢社会におけるテクノロジーの役割</p> <p>一貫性のあるエイジテック・ソリューションの開発 Alex Mihailidis (トロント大学)</p> <p>テクノロジーの利用可能性 Kylie Shae (Team Lead, Access to Assistive Technology, 世界保健機関, スイス)</p>		
10:30 - 11:00	休憩&展示会場見学		
11:00 - 12:30	<p>トラック: 高齢化と経済 — 高齢化が経済にもたらす好影響</p> <p>経済的相互依存 Ruth Finkelstein (ニューヨーク市立大学ハンター校, Brookdale Center for Healthy Aging, 米国)</p> <p>持続的な経済発展を支える仕組みとしての金融リテラシー Susana Harding (シンガポール国際長寿センター, Tsao Foundation, シンガポール)</p> <p>3) 世代間関係の変化の理解: スコットランドの事例 Alison Dawson (スターリング大学, 英国)</p>	<p>トラック: 高齢化とテクノロジー</p> <p>孤独を和らげるコンパニオンロボット Dor Skuler (Intuition Robotics, Israel)</p> <p>高齢化社会におけるロボットスマートホーム 大高 洋平 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座, 日本)</p> <p>AI 技術で健康長寿を促進: iHARP Pei-Wen Hsu (ASUSTeK COMPUTER INC, Taiwan)</p> <p>自立生活を支援する異常検知 Ahmad Lotfi (Nottingham Trent University, UK)</p>	<p>トラック: 高齢化と健康 モデレーター: 葛谷 雅文</p> <p>健康的な加齢を実現するうえでの不平等を解消するためのイノベーションの活用 Cynthia Bullock (UKRI, 英国)</p> <p>運動が地域社会に暮らす高齢者の認知機能と身体機能にもたらす影響 梅垣 宏行 (名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科, 日本)</p> <p>高齢者の認知症を予防するためのデジタルヘルス 島田 裕之 (国立長寿医療研究センター, 日本)</p> <p>移住経験を有するインドの高齢者におけるデジタルヘルスケアおよびマルチモビリティに関する性差 Prem Shankar Mishra (インド経営大学院・バンガロール校, インド)</p>
12:30 - 12:45	休憩&ショーケース・セッション(15 分間)		
12:45 -	<p>介護と住居セッション supported by UKRI</p> <p>12:45 - 13:00 住宅とケアに関する英国の状況の概要、新しい住宅特別委員会の推進、研究とイノベーションの役割 Judith Phillips (Stirling University/ UKRI Healthy Ageing Challenge, UK)</p> <p>13:00 - 13:10 英国の研究とイノベーションの健康老化チャレンジ ポートフォリオから、関連する住宅とケアの研究とイノベーション プロジェクトを紹介 Cynthia Bullock (Healthy Ageing, UKRI – Innovate UK, UK)</p> <p>13:10 - 13:25 健康的認知老化のための住宅設計 (DESCHa)、Nurolight、および 2040 年以降の高齢化に向けた住宅に関する学術研究の成果としてイノベーションを強調したケーススタディ Lesley Palmer (Development Centre at Stirling, UK)</p> <p>13:25 - 13:30 Q&A</p>	<p>12:40 - 13:50 World Health Organization (WHO) によるワークショップ</p> <p>高齢者に優しい都市やコミュニティと連携して支援技術へのアクセスの改善</p> <p>Thiago Hérick de Sá (Age-friendly Environments, World Health Organization, Switzerland)</p> <p>Kylie Shae (Team Lead, Access to Assistive Technology (ATA), World Health Organization, Switzerland)</p>	<p>市民公開講座 4: 12:45-13:45 飲み込み、おしっこ、便秘の悩みと骨盤底筋体操 司会: 加賀谷 斉 (国立長寿医療研究センター)</p> <p>1) 講義 (15 分) 加賀谷 斉 (摂食嚥下・排泄センター長, 国立長寿医療研究センター)</p> <p>2) 講義 (10 分) 松浦 俊博 (国立長寿医療研究センター副院長)</p> <p>3) 講義 (10 分) 野宮 正範 (摂食嚥下・排泄センター 高齢者下部尿路機能研究室 室長)</p> <p>西井 久枝 (摂食嚥下・排泄センター 高齢者下部尿路機能研究室)</p> <p>4) 骨盤底筋体操 (実技) (15 分)</p>
13:30 - 14:30	昼食休憩&展示会場見学		

講演プログラム 2023年10月14日(土)

<p>14:30 - 16:00</p>	<p>トラック: 高齢者にやさしい環境と文化</p> <p>都市政策が高齢者の健康およびウェルビーイングに与える影響 — 未来の都市作り Carlos Dora (International Society for Urban Health, スイス)</p> <p>パンデミック後における高齢者にやさしい大都市の形: 中年期から老年期における活動的で健康な高齢化を実現するための東京の可能性を考える Mike Annear (早稲田大学, 日本)</p> <p>都市部の高齢化コミュニティにやさしい健康的な環境づくりのための設計戦略 Xiaoyi Hu (武漢科技大学, 中国)</p> <p>ベルギーの老年研究: 高齢者を研究者として加えた共創プロジェクト Nico DeWitte (ブリュッセル自由大学 & University College Ghent, ベルギー)</p>	<p>トラック: 高齢化とテクノロジー</p> <p>高齢ドライバーのための先進運転支援テクノロジー 青木 宏文 (名古屋大学)</p> <p>健康長寿に向けた制度変革の加速 Stephen Johnston (The Collective, Fordcastle, UK)</p> <p>ジェロンテクノロジーの発展に向けたデザインアプローチ — 台湾スタートアップ企業の取り組み Yeh-Liang Hsu (国立陽明交通大学, Center for Healthy Longevity and Aging Sciences, 台湾)</p> <p>デジタルメディスンと高齢化の未来 David Wortley (International Society of Digital Medicine, 英国)</p>	<p>トラック: 高齢化と健康</p> <p>健康長寿社会実現に向けたコミュニティ再構築 -フレイル予防のポピュレーションアプローチと地域包括ケアシステム- 飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構)</p> <p>中年期の肥満と晩年における運動機能障害の増加 Rajkumar Dorajoo (Genome Institute of Singapore, Singapore)</p> <p>老化を遅らせるための栄養の効果 Melis Kekuloglu (Yeditepe University, Turkey)</p> <p>人間の運動神経における目に見えない老化の可視化とその応用 渡邊 航平 (中京大学スポーツ科学部)</p>
<p>16:00 - 16:30</p>	<p>休憩 & 展示会場見学</p>		
<p>16:30 - 17:30</p>	<p>プレナリーセッション 4</p> <p>高齢化と世界経済: 社会にもたらす好影響 橋本 泰輔 (経済産業省, 日本)</p> <p>グローバルな長寿経済の展望 Justin Ladner (AARP, 米国)</p>		
<p>17:30 - 18:00</p>	<p>17:30 - 17:45 (タイトル未定) Lisa Fabiny-Kiser (CEO, SENS Research Foundation)</p>	<p>ショーケース・セッション (30分間)</p>	<p>ショーケース・セッション (30分間)</p>

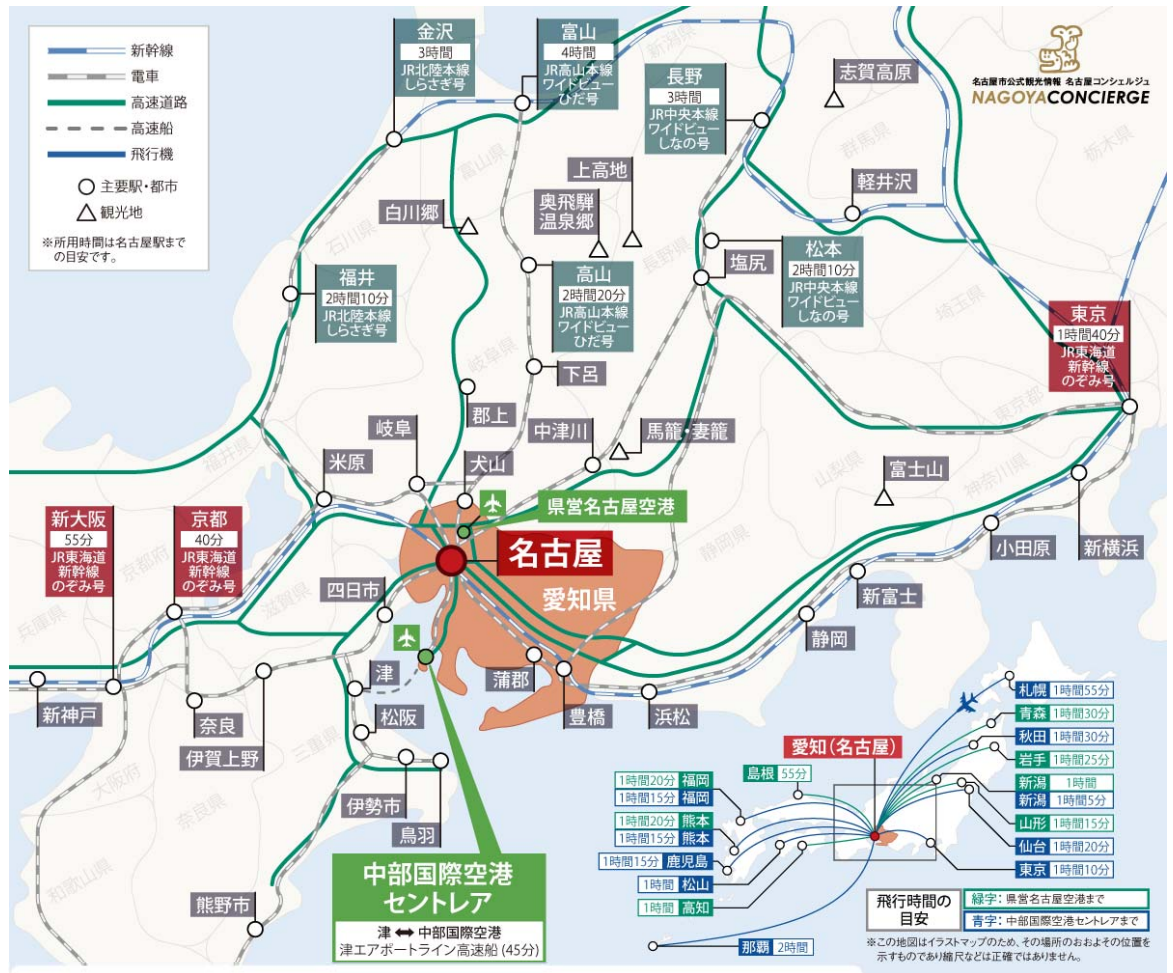
講演プログラム 2023年10月15日(日)			
	コンファレンス・エリア 1	コンファレンス・エリア 2	コンファレンス・エリア 3
9:00 - 10:30	<p>プレナリーセッション 5 パーソン・センタード・ケアの導入</p> <p>モデレーターによる パネルディスカッション</p> <p>1) 総合的なケアとサポートから 個人中心のケアとサポートへ John Beard (米国国際長寿センター& コロンビア大学, 米国)</p> <p>2) 心身機能の保持と改善 Jane Barrat (国際高齢者団体連盟, カナダ)</p> <p>3) ケア・コミュニティの形成 Sarah Harper (オックスフォード大学 高齢化問題研究所, 英国)</p>		
10:30 - 11:00	休憩&展示会場見学		
11:00 - 12:30	<p>トラック: 高齢者にやさしい環境と文化 変化を求めて全力を尽くす: 認知症患者が直面するパブリック・スティグマと生きがいの維持 Robert Hagan (マンチェスターメトロポリタン大学, 英国)</p> <p>生涯現役型社会を促進する米国の住居モデル Su-I Hou (セントラルフロリダ大学, 米国)</p> <p>高齢化する人々の希望とニーズを満たす、持続可能で支援的な住宅 Mary Njoki, (スターリング大学, 英国)</p> <p>iGESS (中等教育における世代間交流) Daniel Lai (香港バプティスト大学, 英国) Alice Wong (香港バプティスト大学, 香港)</p>	<p>トラック: 高齢化とテクノロジー</p> <p>高齢者の安定した自立歩行を補助するテクノロジー 近藤 和泉 (国立長寿医療研究センター, 日本)</p> <p>AIを活用した視線追跡技術による認知症の早期発見 武田朱公 (大阪大学, 日本)</p> <p>すべての人が健康で長生きできる社会へ: 科学、テクノロジー、投資、政策を活用し持続可能なインパクトを世界に与える Tina Woods (Collider Health, 英国)</p> <p>高齢化社会に大きなインパクトを Eric Khilstrom (Kerelnn, 英国)</p> <p>質疑応答</p>	<p>トラック: 高齢化と健康</p> <p>高齢化コミュニティのレジリエンス Susana Harding (シンガポール国際長寿センター, Tsao Foundation, シンガポール)</p> <p>認知症予防・ケアにおける革新 櫻井 孝 (国立長寿医療研究センター, 日本)</p> <p>コミュニティセンターに通う社会的に弱い高齢者に対するライフスタイルへの介入 Julie Vanderlinden (Odisee University of Applied Sciences, ベルギー)</p> <p>アイスランドの高齢者における左右対称性と年齢の関連性 Milan Chang (Reykjavik University, アイスランド)</p>
12:30 - 12:45	閉会の挨拶		

2023年8月23日現在。変更の可能性があります。

【お問い合わせ先】

インエイジ 2023 国内運営事務局
株式会社 オフィス・テイクワン内
〒461-0005
名古屋市東区東桜 1-10-9 栄プラザビル 4-B
TEL : 052-508-8510 / FAX : 052-508-8540
E-mail : inage2023-j@cs-oto.com

アクセス



参加登録サイト

参加費

参加費 (10月13日～15日 3日間)	登録期間	参加区分		
		展示のみ	講演のみ	展示+講演
一般の方		無料	無料	無料
企業関係者	9月13日(水)まで	無料	40,000円	40,000円
	9月14日(木)～会期		50,000円	50,000円
医療・福祉関係者	9月13日(水)まで	5,000円	5,000円	5,000円
	9月14日(木)～会期	6,000円	6,000円	6,000円

【医療・福祉関係者】※
 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、義肢装具士、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理士、臨床心理士、臨床発達心理士、管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学士、救急救命士、歯科衛生士、歯科技工士、心理判定員、児童心理司、児童福祉司、保育士、介護支援専門員(ケアマネジャー)、訪問介護員(ホームヘルパー)、移動介護従業者(ガイドヘルパー)など